

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	中間市教育委員会学校指導課		
所在地	福岡県中間市	運営形態	地域連携(合同部活動)
運営主体	中間市地域部活動推進協議会		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少により、合奏が成り立たない状況があり、生徒にとって望ましい部活動となり得ていない。 ・教員数の減少により、専門的な知識・技能をもたない教員が苦勞しながら顧問を務めている。 		
事業目標	生徒にとって望ましい部活動(吹奏楽部)と教職員の働き方改革の実現に向けて、合同部活動の実践研究を実施し、持続可能な部活動とその指導体制を構築する。		
団体・組織等の連携	<p>少子化による部員減少による弊害への対応や学校の働き方改革に資するため、合同部活動の実践研究を実施し、持続可能な部活動と指導体制を構築する。</p> <p>B中学校 C中学校 D中学校 地域の指導者</p> <p>主として休日や長期休業中に合同練習等を行う</p> <p>A中学校【拠点校】</p> <p>消耗品等 MUSIC 運搬等 演奏会場等</p> <p>謝金等</p> <p>中間市地域部活動推進協議会 (実践研究の支援・助言・事務処理等)</p> <p>福岡県教育委員会</p> <p>連携</p>		
拠点校等	中間市立中間東中学校		
活動場所	希望が丘高等学校、なかまハーモニーホール		
活動概要	<p>①ブラスフェスタ(1/29)をゴールとした対面による合同練習会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初から合同練習会を計画していたが、コロナ感染拡大が進み、計画を見直すこととなった。10月からは全ての中学校の日程が合わなくとも、参加することができる学校を中心として合同練習を実施した。 <p>②地域部活動推進協議会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員による本事業に係る協議等(6月、12月、2月) <p>③教員アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の視点を中心とした聞き取り等 <p>【活動実績】</p> <p>①合同練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な内容は、楽器別パート練習、合奏等 <p>②推進協議会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業・活動方針説明、事業に係る協議、計画打合せ等 <p>③教員アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業に対する意識調査等 		

○本事業による成果

- ・コロナ禍であったが、10月～翌年1月にかけて合同練習会を8回(練習時間各3時間)実施することができた。
- ・合同練習時における教員の業務については、引率のみを行い、技術指導等は地域指導者等に任せることができた。(顧問が自由に活動できる時間が若干ではあるが生まれている。)
- ・プラスフェスタでは、中間東中学校(10名)、中間北中学校(20名)、中間南中学校(27名)、中間中学校(16名)、希望が丘高等学校(13名)が参加し、それぞれの楽曲を演奏したり、合同演奏したりすることができた。また、保護者及び多くの観客が参観することができ、大盛況であった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・生徒はパートごとに専門性をもった指導者から丁寧にレッスンを受けることができたため、それぞれの楽器の技術向上ができて大変有意義であったという声が多く聞かれた。
- ・指導者からは、コロナの影響でわずか8回の合同練習であったが、生徒の成長を見取ることができたため、今後もグループごとに継続して練習していくことが大切であるとの意見をいただいた。
- ・単独校では実施できない活動(大人数での合奏等)ができているため、保護者等の満足度も高い。

○運営上の工夫

- ・パートごとの指導者の確保
- ・固定化された練習場と移動困難な大型楽器の確保
- ・ICTを活用して、各校の顧問での連携を図ることができた。

○継続的な運営に関する課題

- ・年度当初から8月に合同練習会を実施する計画にしていたが、コロナの影響で実施が不可能となった。
- ・楽器の運搬が伴うため、顧問の参加が必須になってしまう状況である。
- ・合同練習(地域部活動)は必ず同じ場所で実施するなど、拠点となる会場や施設を定着させる必要がある(生徒や楽器移動に係る顧問の負担軽減のため)。
- ・コロナ禍如何に関わらず、次年度は、定例日を設定し、安定した合同練習体制を整える必要がある。(例えば、毎月第2・4土曜日に設定する等)
- ・施設使用料や指導者への謝金、必要経費など予算を確保していくことが必要である。
- ・生徒の送迎に係る保護者への負担(送迎の際の事故対応など)への配慮が必要である。
- ・コーディネーターを含む講師陣の人材確保が困難な状況も考えられる。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・地域部活動移行については、教員の意識改革及び保護者や地域の理解を得るためにも、文化部活動・運動部活動ともに差異なく、次年度から一斉に方針転換をする必要がある。(教育委員会が方針を通知する等)

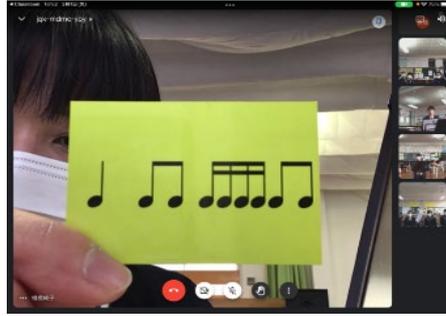
○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	中間東中学校10名、中間北中学校20名、中間南中学校27名、中間中学校16名 (希望が丘高等学校13名)
	募集方法	学校及び部活動保護者会での周知
指導者	人数等	市内在住の主となる指導者(総監督的な役割)1名、各楽器のトレーナー指導者 2~3名、各中学校の吹奏楽顧問 ※ 他にコーディネーター的役割となる人材1名
	募集方法	地域指導者代表による連絡・調整により指導者の人員を確保
参加者の移動手段		原則、保護者による送迎または生徒自身による自転車や徒歩での移動(学校 外での練習)
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金1,600円/1時間、交通費(市外在住)1,800円(往復)
	その他	練習に必要な物品の購入
活動財源	会費	なし
	その他	文化庁地域部活動推進事業補助金697,810円
スケジュール	基本活動	楽器別パート練習、合奏等
	年間	○合同練習 ・主な内容は、楽器別パート練習、合奏等 第1回合同練習 10月29日(土)楽器別パート練習、合奏 第2回合同練習 11月27日(日)楽器別パート練習、合奏 第3回合同練習 12月10日(土)楽器別パート練習 第4回合同練習 12月17日(土)楽器別パート練習 第5回合同練習 12月26日(月)楽器別パート練習、合奏 第6回合同練習 1月14日(土)楽器別パート練習 第7回合同練習 1月21日(土)楽器別パート練習 第8回合同練習 1月28日(土)合奏、リハーサル プラスフェスタ 1月29日(日) ○中間市地域部活動推進協議会 第1回 6月24日(金) 第2回12月23日(金) 第3回 2月15日(水)
保険加入等		「スポーツ安全保険」 ※対象は、地域指導員のみ。生徒は学校管理下での活動のため、スポーツ振 興会に対応する予定。

【活動の様子】



推進会議の様子



オンラインによる練習の様子



合同パート練習の様子



合同合奏練習の様子



合同演奏会の様子